

駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に必要な合理的配慮を目指して ～ 視覚障害者に必要なホーム案内情報の提供について ～

社会福祉法人石川県視覚障害者協会
理事長 米島 芳文

1 経過

本年3月に開催された国土交通省、駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関する意見交換会において、本分科会でこれまで報告した内容を整理し、駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に必要な視覚障害者に対する合理的配慮について報告した。

今回は、無人駅に関する情報提供の一環として、北陸本線ワンマン運転列車に乗車し、駅ホームの構造を調査した。

2 視覚障害者に必要なホーム案内情報の収集

今回の調査は、視覚障害者が列車降車時に列車乗務員によるサポートを受けられる先頭車両前方の出入り口を利用して、ホーム場の改札口、階段、エレベータなどの位置を確認した。

- (1) 調査日: 令和5年5月18日
- (2) 調査対象駅: JR 北陸本線、金沢駅～大聖寺駅、14駅
- (3) 乗車列車: ワンマン運転2両編成
上り金沢駅発 10:29 下り大聖寺駅発 12:42
- (4) 調査方法: 先頭車両前方出入り口に乗車、
目視により駅ホームの構造を確認
- (5) 調査内容: 改札口、階段(上り、下り)、エレベータ等の位置

3 視覚障害者に必要なホーム案内情報の整理

今回調査した内容を整理し、「ホーム案内情報一覧」を作成した。

(1) 駅の種類と駅数

社員配置駅 4駅 (29%)

無人駅 10駅 (71%)

* 無人駅の割合が70%を超えている。

(2) 駅ホームの形状と駅数

島式ホーム 15駅 (54%)

相対式ホーム 13駅 (46%)

(3) 列車降車出口と駅数

①右側扉 11駅 (39%)

島式ホーム 10駅 相対式ホーム 1駅

②左側扉 17駅 (61%)

相対式ホーム 12 駅 島式ホーム 5 駅

(4) 目標の種類と駅数

改札口 8 駅、上り階段 16 駅、下り階段 6 駅、エレベータ 5 駅、
その他（待合室、自動販売機） 4 駅

(5) 目標の方向（その他を除く）と駅数

後方 24 駅、前方 10 駅、正面 4 駅

(6) 目標までの距離（その他を除く）と駅数

短い：0m 4 駅、1m 1 駅、2m 2 駅、3m 1 駅、5m 10 駅

中間：10m 5 駅、15m 2 駅

長い：20m 7 駅、30m 2 駅、40m 4 駅

(7) 移動距離 5 m 以下の駅ホームと駅数

該当駅ホーム 15 駅（54%）

相対式ホーム 9 駅（69%）、島式ホーム 6 駅（40%）

無人駅ホーム 12 駅（60%）、社員配置駅ホーム 3 駅（38%）

* 相対式ホームの割合が高く、島式ホームの割合が低い。

* 無人駅の割合が高く、社員配置駅の割合が低い。

(8) 移動距離 20 m 以上の駅ホームと駅数

該当駅ホーム 7 駅（25%）

島式ホーム 5 駅（33%）

相対式ホーム 2 駅（15%）

社員配置駅ホーム 4 駅（50%）

無人駅ホーム 3 駅（15%）

* 相対式ホームの割合が島式ホームに比べて低い。

* 社員配置駅の割合が高く、無人駅の割合が低い。

4 視覚障害者に必要なホーム案内情報の活用

(1) 移動経路に必要なホーム案内情報の提供

今回得られた駅ホームの目標（改札口、階段、エレベータ等）の位置情報の提供は、視覚障害者がメンタルマップの作成や列車乗務員によるサポートの依頼を判断するにあたり、有効に活用できる。

(2) 音声メッセージによる案内の作成

今回得られたホーム案内情報を基に、視覚障害者が利用できる音声メッセージを作成した。

例：北陸本線上り西金沢駅

「次は西金沢、無人駅です。」お出口は右側です。

「ホームは島式です。ご注意ください。」

「先頭から 20 m に上り階段があります。」

「階段には音声案内があります。」

(3) 列車乗務員による支援の判断

今回得られたホーム案内情報を基に、駅ホームの移動距離や駅ホームの目標を参考に、列車乗務員による支援方法を検討することができる。

①列車乗務員による見守り・声掛けを行う場合

移動距離が短く、列車乗務員の声掛けや見守りで、移動の安全が確認できる場合は、列車内にとどまり対応が可能となる。

②列車乗務員による誘導を行う場合

列車乗務員による見守り・声掛けで対応できない場合は、列車乗務員が階段まで誘導する必要がある。列車乗務員が列車を離れる時間は3分以内に限定される。

③他の駅から派遣された駅員による誘導を行う場合

階段までの移動距離が長く、列車乗務員のサポート時間が3分を超える場合は、社員配置駅からの駅員派遣が必要となる。

5 今後の課題

日本視覚障害者団体連合では、視覚障害者が列車降車後の鉄道無人駅ホームを安全に移動できるよう、列車乗務員によるサポートやホームの安全対策(階段の音声案内装置や誘導令、ホーム中央の誘導ブロックの設置等)を早急に実施すること。特に、ホームの安全対策については、当該駅の状況を踏まえ、検討を進めること。併せて、列車乗車時の乗務員によるサポートも行うことを求めている。

今回の調査結果を踏まえ、次に挙げる課題の解決に向けて、委員各位の忌憚のないご意見をいただきたい。

(1)列車乗務員によるサポートについて

ホームの安全対策が進まない無人駅においては、列車乗務員によるサポートが不可欠となっている。列車乗務員による見守り・声掛け、列車乗務員による誘導など具体的なサポート方法を検討し、実施することが求められる。

また、以下に示した駅ホームの安全対策を進めることにより、列車乗務員の業務負担の軽減にも繋がるものと考えられる。

(2)階段の音声案内装置の整備について

駅ホーム移動の目標の位置を示す階段の音声案内装置の設置は、駅ホーム移動が安全・円滑にできる環境を整える有効な取り組みであることから、未設置駅ホームの解消に向け、計画的に整備を進める必要がある。

特に、移動距離の長い駅ホームや無人駅ホームの設置については、優先して整備を進める必要がある。

また、エレベータや改札口の音声案内装置の整備についても、具体的な検討を開始する必要がある。

(3)ホーム中央線の設置について

移動距離の長い駅ホームが存在することから、ホーム中央線の設置が必要である。特に、島式ホームでの安全な誘導路の確保の視点から、ホーム中央線の形状や色について、早急に検討を開始する必要がある。

駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に必要な視覚障害者に対する合理的配慮

社会福祉法人石川県視覚障害者協会

理事長 米島芳文

1. 現状 — 課題と対策

(1) 切符が買えない

対策： 障害者向け IC 乗車券を利用

(2) 改札口からホームまでの移動が不安

対策： 障害者サポートダイヤルによる情報提供を活用

駅員に変わる移動支援者を確保

視覚障害者歩行訓練により単独歩行技術を取得

(3) 列車乗車時に列車の出入り口がわからない

対策： 列車開閉ドアの音声を活用

列車乗務員による声掛け・誘導支援を受ける

(4) 列車降車の後、駅ホームの移動が怖い

対策： 列車乗務員による声掛け・誘導支援を受ける

駅ホーム階段の音声案内装置を活用

ホーム中央に安全な誘導路を確保

2 .今後の取り組み

- (1) 全国共通障害者向け IC 乗車券を普及する
- (2) 障害者サポートダイヤルによる情報提供を活用する
- (3) 列車乗車時、駅員に変わる移動支援者を確保する
- (4) 列車降車時、列車乗務員による見守り・声掛け・誘導支援を活用する
- (5) 駅ホームの安全対策を講ずる
駅ホーム階段音声案内装置を設置する
警告ブロックと異なる凹凸の誘導表示の中央線を整備する
- (6) 視覚障害者の駅利用を踏まえた無人化に伴う安全・円滑な駅利用に必要な移行計画を作成する
- (7) 視覚障害者と移動支援者を対象とした駅利用体験の場を設ける

J R 北陸本線ホーム案内情報

番号	駅名	駅の種類	方面	ホーム形状	出入口	方向	距離(m)	目標	備考
1	金沢	社員配置	上り	島式	左側	後方	20	下り階段	
			下り	島式	右側	後方	10	エレベータ	
2	西金沢	無人	上り	島式	右側	後方	20	上り階段	
			下り	島式	右側	正面		待合室	
						前方	5	エレベータ	
後方	20	上り階段							
3	野々市	無人	上り	相対式	左側	正面		改札口	
			下り	相対式	左側	後方	20	上り階段	
						前方	5	上り階段	
4	松任	社員配置	上り	相対式	左側	前方	2	上り階段	
5	加賀笠間	無人	上り	相対式	左側	後方	5	改札口	
6	美川	無人	上り	島式	右側	前方	3	上り階段	
						後方	40	上り階段	
			下り	相対式	左側	前方	2	上り階段	
7	小舞子	無人	上り	相対式	左側	前方	2	上り階段	
						後方	5	改札口	
			下り	相対式	左側	正面		改札口	
後方	30	上り階段							
8	能美根上	無人	上り	島式	右側	後方	5	上り階段	
			下り	島式	右側	正面		待合室	
						後方	10	エレベータ	
後方	20	上り階段							
9	明峰	無人	上り	相対式	左側	正面		上り階段	
			下り	相対式	左側	後方	10	待合室	
後方	40	上り階段							
10	小松	社員配置	上り	島式	左側	正面		自動販売機	
						前方	5	エレベータ	
			後方	10	下り階段・エスカレータ				
下り	相対式	右側	後方	20	下り階段・エスカレータ				
11	粟津	無人	上り	島式	右側	後方	10	下り階段	
			下り	島式	左側	後方	15	下り階段	
12	動橋	無人	上り	相対式	左側	後方	15	改札口	
			下り	相対式	右側	前方	5	上り階段	
13	加賀温泉	社員配置	上り	島式	左側	後方	40	エレベータ	
			下り	島式	左側	後方	40	上り階段	
14	大聖寺	無人	上り	島式	右側	前方	5	上り階段	
			下り	相対式	左側	正面		改札口	

J R北陸本線駅ホーム移動距離一覧

・移動距離が5 m以下の駅ホーム

番号	駅名	方面	ホームの形状	方向	距離	目標	備考
1	野々市	上り	相対式	正面		改札口	
2	小舞子	下り	相対式	正面		改札口	
3	明峰	上り	相対式	正面		上り階段	
4	大聖寺	下り	相対式	正面		改札口	
5	野々市	下り	相対式	後方	1 m	改札口	
6	松任	上り	相対式	前方	2 m	上り階段	音声案内
7	美川	上り	島式	前方	3 m	上り階段	
8	西金沢	下り	島式	前方	5 m	エレベーター	
9	松任	下り	島式	前方	5 m	上り階段・エスカレーター	音声案内
10	加賀笠間	上り	相対式	後方	5 m	改札口	
11	小舞子	上り	相対式	後方	5 m	改札口	
12	能美根上	上り	島式	後方	5 m	上り階段	音声案内
13	小松	上り	島式	前方	5 m	エレベーター	
14	動橋	下り	相対式	前方	5 m	上り階段	
15	大聖寺	上り	島式	前方	5 m	上り階段	

・移動距離が10 m・15 mの駅ホーム

番号	駅名	方面	ホームの形状	方向	距離	目標	備考
16	金沢	下り	島式	後方	10m	エレベーター	
17	加賀笠間	下り	相対式	後方	10m	改札口	
18	能美根上	下り	島式	後方	10m	エレベーター	
19	栗津	上り	島式	後方	10m	下り階段	
20	栗津	下り	島式	後方	15m	下り階段	
21	動橋	上り	相対式	後方	15m	改札口	

・移動距離が20 m以上の駅ホーム

番号	駅名	方面	ホームの形状	方向	距離	目標	備考
22	金沢	上り	島式	後方	20m	下り階段	音声案内
23	西金沢	上り	島式	後方	20m	上り階段	音声案内
24	小松	下り	島式	後方	20m	下り階段・エスカレーター	音声案内
25	加賀温泉	上り	島式	後方	40m	エレベーター	
26	加賀温泉	下り	島式	後方	40m	上り階段	
27	美川	下り	相対式	後方	40m	上り階段	
28	明峰	下り	相対式	後方	40m	上り階段	